

Jミルクが2020年9月25日に公表した「需給見通し(※2020年7月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。毎月25日の「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も随時、配信していきます。発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《年末年始の生乳需給は大幅な緩和の恐れ～今後の生乳需給について～》

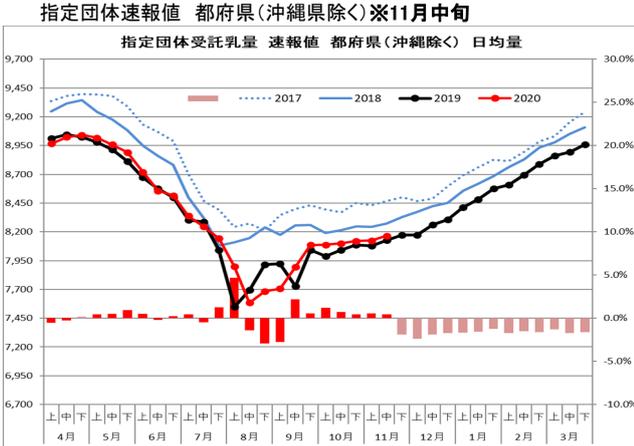
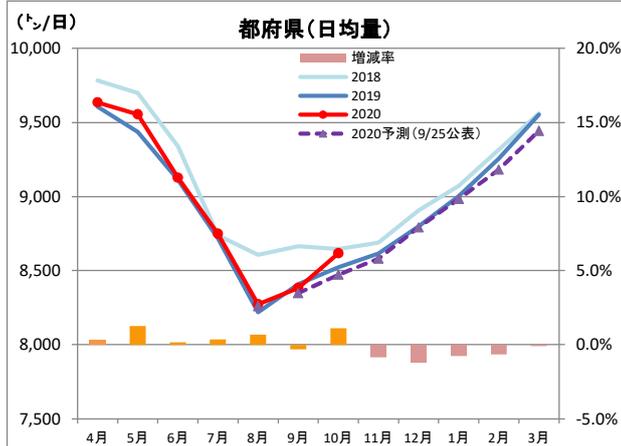
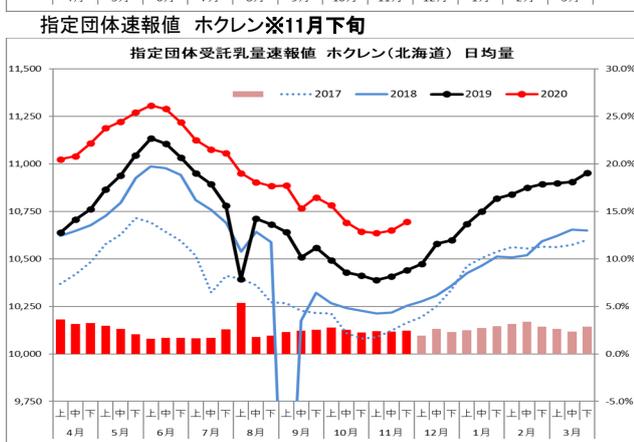
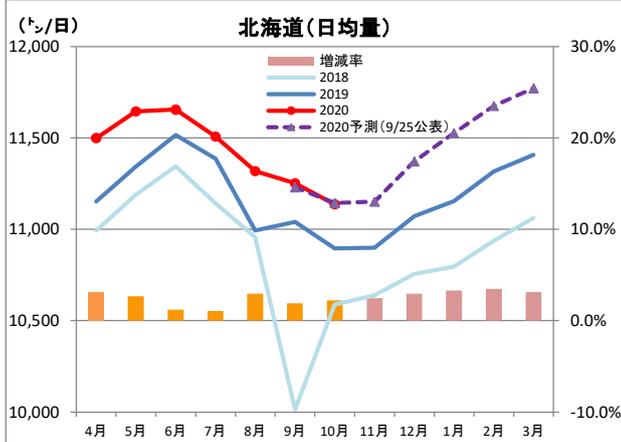
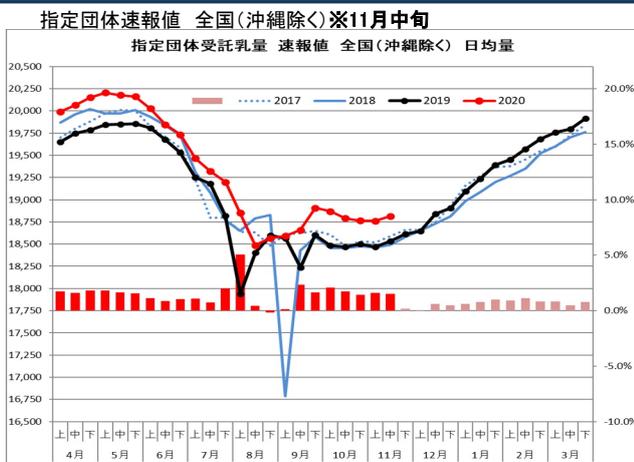
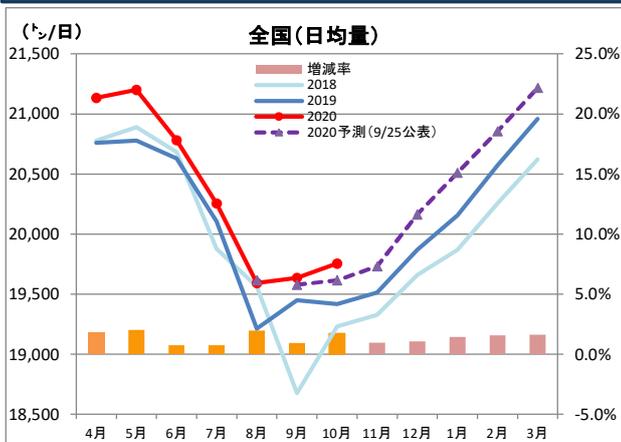
・10月の需給実績について、生乳生産量は都府県の伸び率が拡大し全国的に堅調に推移したが、飲用需要については、天候等の影響もあり、前年を若干下回って低調に推移した。また、脱脂粉乳・バター出回り量について、脱脂粉乳は前年を大きく上回ったものの、バターは引き続き前年を下回って推移している。なお、脱脂粉乳の出回り量が増加したのは、在庫の脱脂粉乳が国による飼料用等への活用対策に振り向けられたからであり、在庫量としては脱脂粉乳・バターともに依然、高水準となっている。

・なお、牛乳類については、11月になって消費が回復しており、直近(11/23週)の牛乳の家庭内消費は、前週(11/16週)から伸び率がさらに拡大し、引き続き好調に推移している。また、家庭用バターについても引き続き好調な販売状況となっており、最需要期となる今月の安定供給が非常に重要となる。

・また、新型コロナウイルスの感染拡大によって、一部地域では飲食店への時短要請や「Go Toキャンペーン」の見直しが行われており、低調な業務用需要がより厳しい状況になると想定される。さらに、クリスマス需要がひと段落し生クリームなどの生産量も減少する。こうした中、学校給食や食品スーパーの営業が休止となる年末年始には短期的に生乳需給が大幅緩和する恐れがあるため、牛乳などのフレッシュ製品の家庭内消費をさらに拡大するべく、業界全体で需要拡大に取り組んでゆくとともに、万全な余乳処理体制を準備しておく必要がある。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

- (1) 10月の生乳生産量は、全国612千ト(前年同月比101.7%)、北海道345千ト(同102.2%)、都府県267千ト(同101.1%)。
- (2) Jミルク予測値(全国:608千ト、北海道:345千ト、都府県263千ト)から全国・都府県は上振れして推移している。
- (3) 直近の指定団体速報値によると、全国が同101.5%(11月中旬)、北海道が同102.4%(11月下旬)、都府県(沖縄除く)が同100.5%(11月中旬)。



**【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。**

(1) 10月の牛乳等生産量は、牛乳282千kl(前年同月比99.5%)、成分調整牛乳23千kl(同95.0%)、加工乳10千kl(同90.7%)、乳飲料92千kl(同90.4%)となり、牛乳類合計では407千kl(同96.8%)となった。

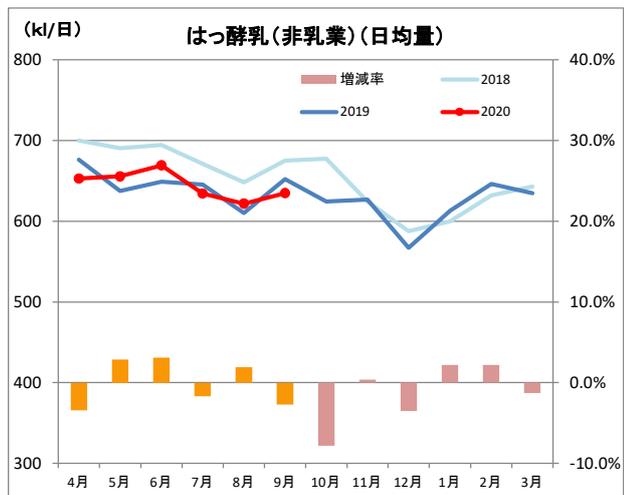
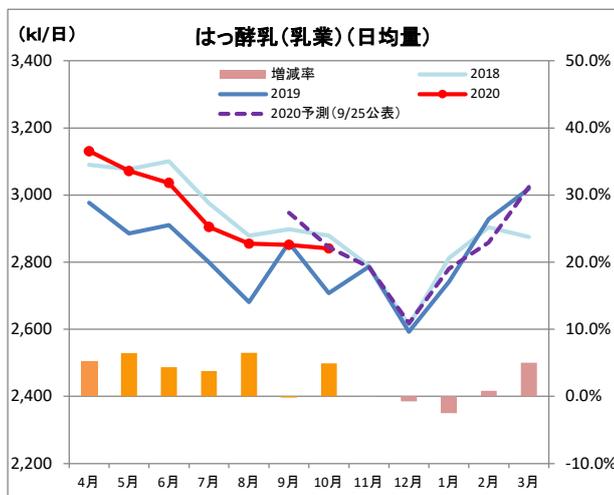
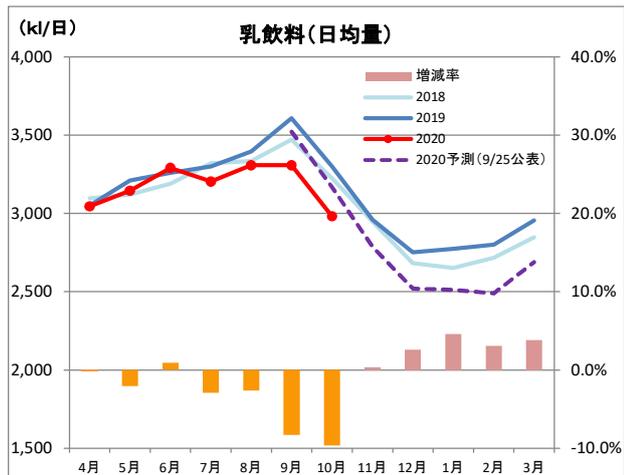
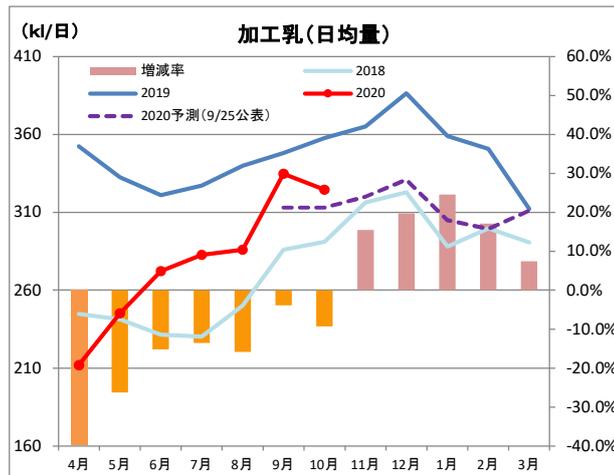
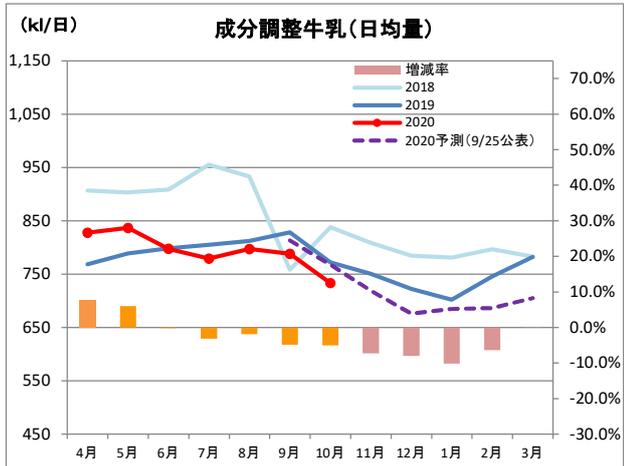
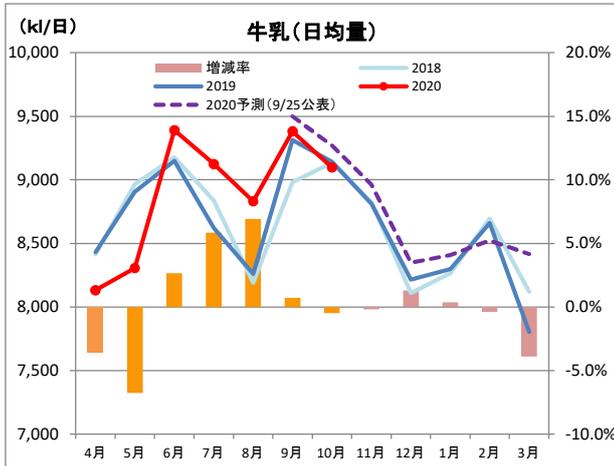
なお、予測値との比較では、牛乳(予測値:287kl)、成分調整牛乳、乳飲料は下振れして推移している。

(2) 「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同99.8%と2019年12月以来の前年割れとなり、「業務用」は同89.6%と引き続き前年を大きく下回っている。

(3) はっ酵乳(乳業)は88千kl(同104.9%)と再び前年を上回った。非乳業実績(9月)については同97.3%と前年を下回った。

なお、はっ酵乳(乳業)は、予測値(88kl)と同程度で推移している。

※はっ酵乳(非乳業)資料: (一社)食品需給研究センター「食品製造業の生産動向」



## 【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI】※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)10月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比101.1%、成分調整牛乳:同97.2%、加工乳:同85.5%、乳飲料:同92.5%。

**牛乳類では同99.0%と9月に続き前年を下回った。**

・販売単価は、牛乳:190.2円、成分調整牛乳:173.7円、加工乳:186.5円、乳飲料:150.6円。

(3)直近(本年9月~)の動向(表②参照)

・直近(11/23週)の販売個数は、牛乳:前年同期比105.6%、成分調整牛乳:同99.7%、加工乳:同93.7%、乳飲料:同96.2%。

**牛乳類では同103.3%と前週(11/16週)より伸び率が拡大した。**

・販売単価は、牛乳:189.4円、成分調整牛乳:173.5円、加工乳:186.0円、乳飲料:150.7円。

・牛乳は販売個数が増加し、伸び率も拡大した。

※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。**データ転用はご遠慮下さい。**

【表① 牛乳類の月別販売動向】

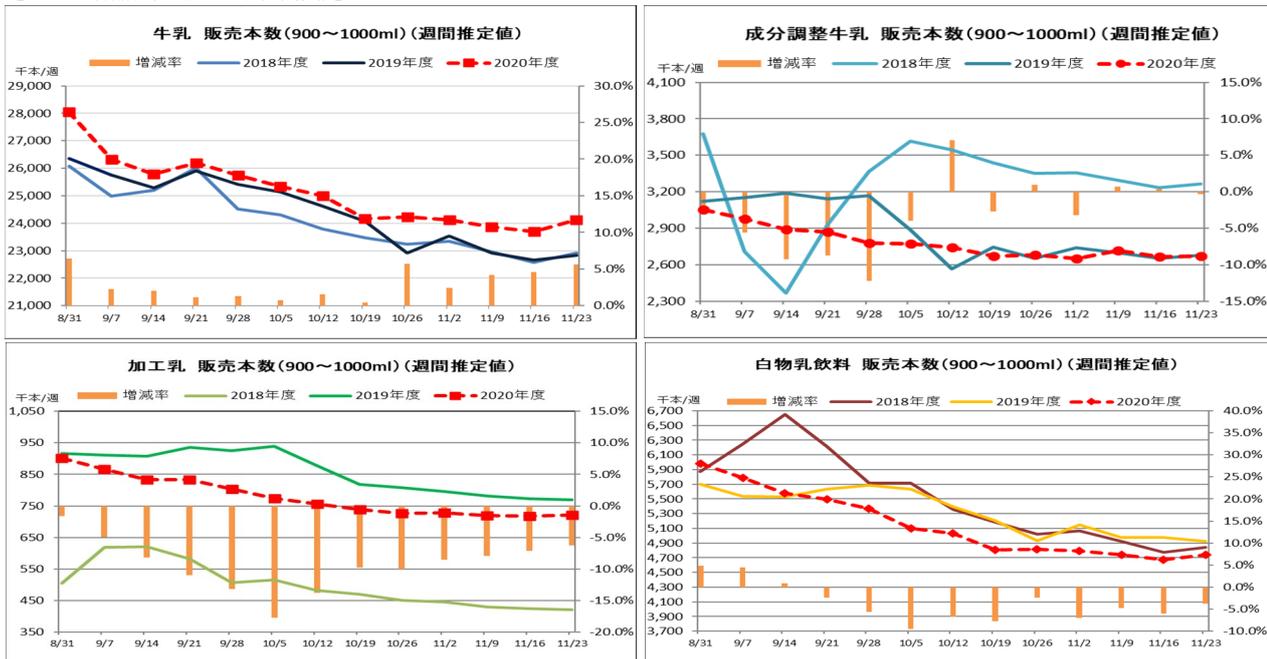
単位:千個/円

品目	区分	2020/1-	2020/2-	2020/3-	2020/4-	2020/5-	2020/6-	2020/7-	2020/8-	2020/9-	2020/10-
トータル	販売個数	130,706	130,783	148,892	157,820	170,377	157,603	156,578	168,143	153,360	146,755
	販売個数前年比	100.8	106.9	117.0	117.0	116.6	107.9	103.9	107.1	99.8	99.0
	販売単価	181.8	181.5	182.0	182.7	182.9	182.9	183.1	183.4	183.7	182.8
牛乳	販売個数	96,416	96,544	110,562	117,643	127,232	117,433	116,239	125,559	112,972	109,372
	販売個数前年比	101.4	107.7	109.1	119.2	119.1	110.1	105.8	109.0	101.1	101.1
	販売単価	189.4	189.1	189.3	189.9	190.3	190.3	190.7	190.9	191.8	190.2
成分調整牛乳	販売個数	11,016	11,040	12,526	13,231	13,978	12,662	12,597	13,197	12,509	12,018
	販売個数前年比	82.5	87.6	87.5	109.4	109.4	100.4	95.3	97.2	91.7	97.2
	販売単価	172.9	172.6	173.5	173.7	174.8	175.2	175.1	175.1	174.9	173.7
加工乳	販売個数	3,103	3,064	3,449	3,579	3,933	3,743	3,685	3,820	3,665	3,309
	販売個数前年比	178.0	188.6	189.0	108.3	102.7	98.4	93.1	96.9	92.3	85.5
	販売単価	182.7	182.1	182.9	184.3	181.3	180.4	181.6	184.7	183.3	186.5
乳飲料	販売個数	20,172	20,135	22,356	23,367	25,233	23,766	24,058	25,567	24,214	22,056
	販売個数前年比	103.7	109.5	108.8	112.5	111.3	103.3	101.7	105.4	99.7	92.5
	販売単価	149.9	150.0	150.4	150.9	150.8	150.7	150.8	150.4	150.6	150.6

【表② 牛乳類の販売動向(直近の動向)】

品目	区分	9.7-	9.14-	9.21-	9.28-	10.5-	10.12-	10.19-	10.26-	11.2-	11.9-	11.16-	11.23-
トータル	販売個数	35,955	35,084	35,404	34,702	33,983	33,528	32,387	32,456	32,283	32,048	31,757	32,251
	販売個数前年比	101.7	100.5	99.4	98.6	98.2	100.2	98.6	103.6	100.2	102.1	102.2	103.3
	販売単価	183.8	183.9	183.5	182.9	182.9	182.8	182.8	182.4	182.5	182.2	182.7	182.4
牛乳	販売個数	26,330	25,782	26,204	25,751	25,337	24,992	24,171	24,237	24,113	23,873	23,703	24,121
	販売個数前年比	102.3	102.0	101.1	101.3	100.8	101.5	100.4	105.7	102.4	104.2	104.6	105.6
	販売単価	192.0	192.2	191.4	190.7	190.3	190.2	190.0	189.6	189.7	189.5	190.0	189.4
成分調整牛乳	販売個数	2,974	2,891	2,868	2,780	2,774	2,744	2,671	2,679	2,652	2,718	2,663	2,670
	販売個数前年比	94.4	90.7	91.3	87.8	96.1	107.0	97.3	100.9	96.8	100.7	100.4	99.7
	販売単価	175.4	174.9	174.4	173.4	173.8	173.8	173.7	173.6	173.7	172.6	173.1	173.5
加工乳	販売個数	867	833	833	804	773	757	739	726	728	719	718	721
	販売個数前年比	95.1	91.8	88.9	86.9	82.2	86.3	90.2	90.0	91.4	92.0	92.8	93.7
	販売単価	183.6	184.3	183.3	184.2	186.1	186.7	185.7	186.1	186.3	186.0	185.5	186.0
乳飲料	販売個数	5,784	5,578	5,499	5,366	5,099	5,034	4,805	4,814	4,790	4,739	4,673	4,739
	販売個数前年比	104.5	100.9	97.7	94.4	90.5	93.3	92.3	97.6	93.0	95.2	94.0	96.2
	販売単価	150.6	150.5	150.6	150.4	150.5	150.6	150.8	150.6	150.8	150.1	150.7	150.7

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



**【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績**

(1)直近(本年9月～)の動向(表④参照)

直近(11/23週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90～250ml):前年同期比90%未満、個食タイプ(70～130ml):同90%以上、大容量タイプ(350～500ml):同90%以上。

(2)各品目とも前週(11/16)と同程度の販売状況となっている。

【表③ ヨーグルト類の販売動向】

品目	9.7-	9.14-	9.21-	9.28-	10.5-	10.12-	10.19-	10.26-	11.2-	11.9-	11.16-	11.23-
ドリンクタイプ	↘	↘	↓	↘	↘	↘	↘	↘	↓	↘	↘	↓
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↗	↗	→	→	→	→	↘	→	↘	→	→	↘

 : 前年比90%未満	 : 前年比105%以上110%未満
 : 前年比90%以上100%未満	 : 前年比110%以上120%未満
 : 前年比100%以上105%未満	 : 前年比120%以上

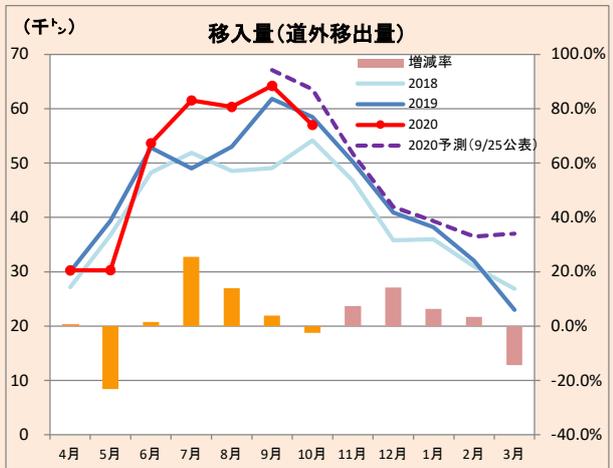
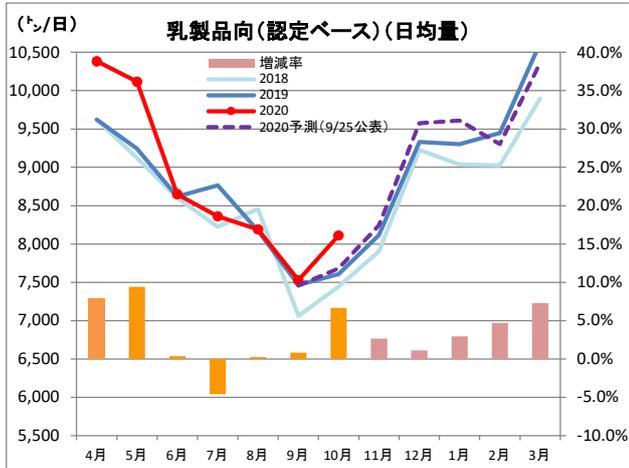
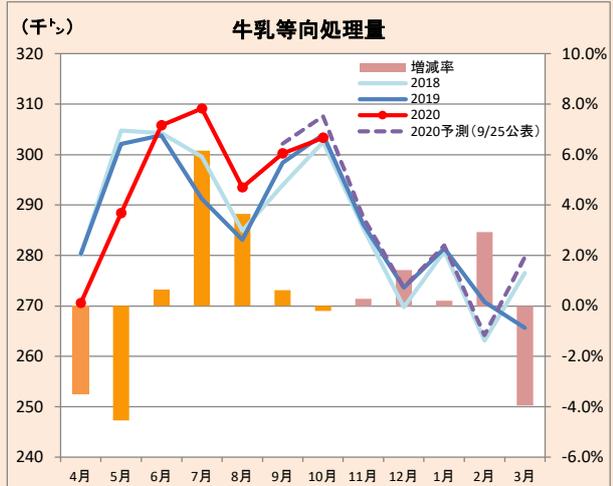
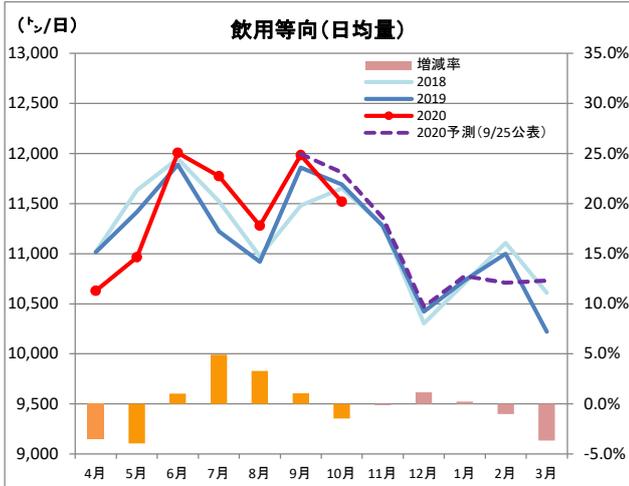
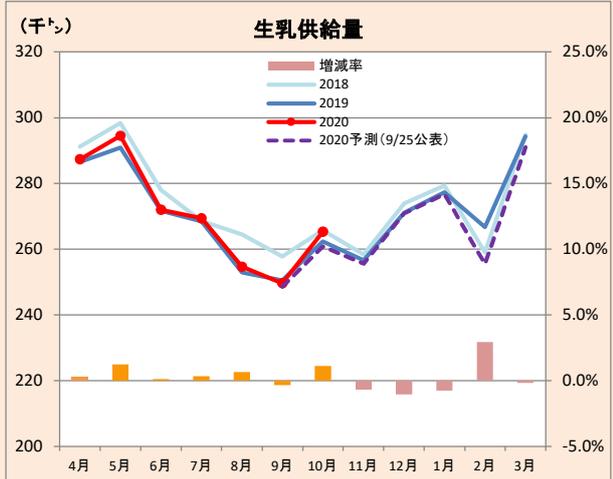
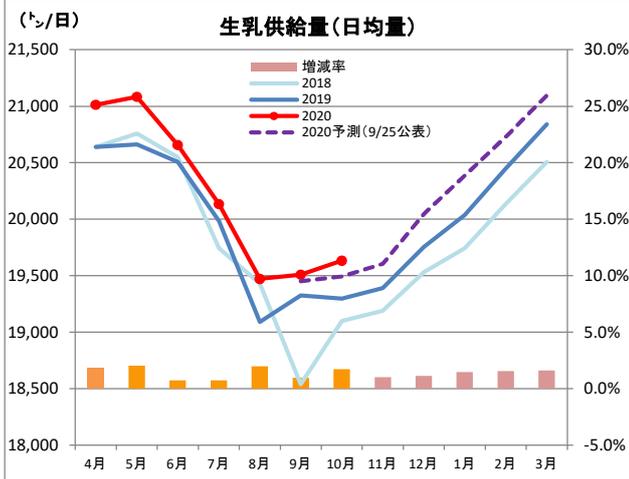
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

**【用途別処理量】 ※増減率は、日均量で算出。**

(1) 10月の生乳供給量は608千トン(前年同月比101.7%)、飲用等向357千トン(同98.5%)、乳製品向(認定ベース)252千トン(同106.7%)。  
 (2) 予測値との比較では、生乳供給量(予測値:604千トン)は上振れ、飲用等向(予測値:366千トン)は下振れ、乳製品向(予測値:238千トン)は上振れで推移している。

**【都府県の生乳需給】 ※増減率は、日均量で算出。**

(1) 10月は、生乳供給量265千トン(前年同月比101.1%)、牛乳等向303千トン(同99.8%)。  
 (2) 北海道からの移入量について、57千トン(同97.5%)と前年を下回った。  
 (3) 予測値との比較では、生乳供給量(予測値:261千トン)は上振れ、牛乳等向(予測値:308千トン)、北海道からの移入量(予測値:64千トン)は下振れして推移している。



**【脱脂粉乳・バター需給】 ※増減率は、日均量で算出。**

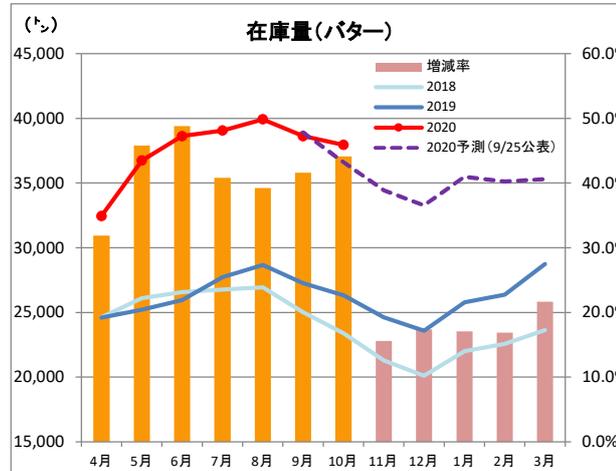
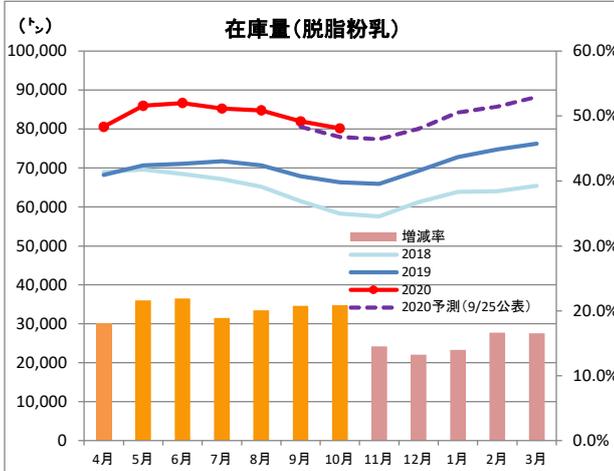
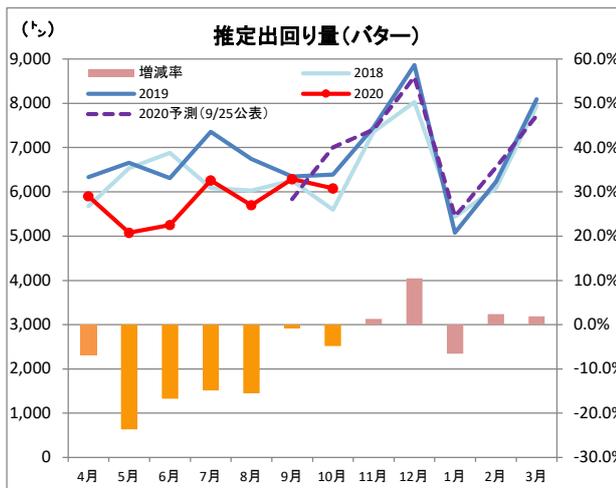
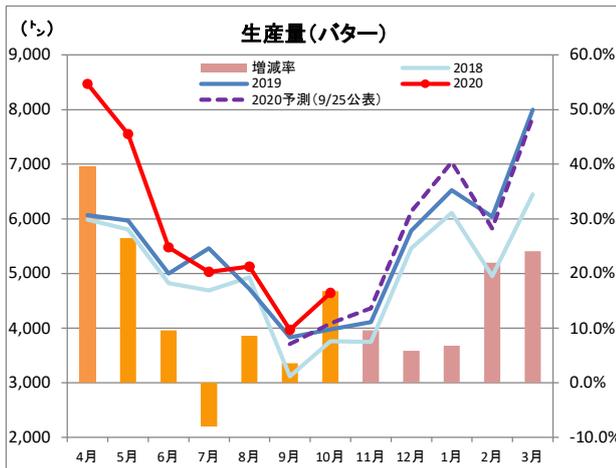
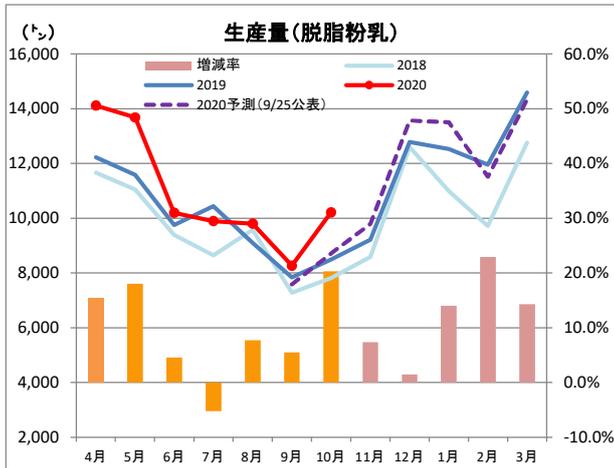
(1) 脱脂粉乳は、10月の生産量は10.2千トン(前年同月比120.3%)、推定出回り量は12.0千トン(同116.8%)、その結果、在庫量は80.2千トン(同120.9%)。推定出回り量(≒需要量)は前年を大きく上回って推移している。

なお、予測値との比較では、生産量(予測値:8.7千トン)、推定出回り量(予測値:11.4千トン)、在庫量(予測値:78.0千トン)ともに上振れで推移している。

(2) バターは、10月の生産量は4.6千トン(同116.8%)、推定出回り量は6.1千トン(同95.2%)、その結果、在庫量は38.0千トン(同144.1%)。

推定出回り量(≒需要量)は前月より減少幅が拡大した。

なお、予測値との比較では、生産量(予測値:4.1千トン)は上振れ、推定出回り量(予測値:7.0千トン)は下振れとなっており、在庫量(予測値:36.8千トン)は上振れで推移している。



### 【家計支出の動向】

- (1)牛乳乳製品の支出額について、伸び率は縮小傾向にあるものの、9月も引き続き前年を上回っている。
- (2)外食の支出額は前年を大きく下回っているが、中食、家庭内食における支出額は前年を上回って推移している。

※統計局家計調査（家庭内食は、食料-調理食品-外食で算出）

用途分類	区分	2020年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
牛乳乳製品	支出金額	2,914	3,053	3,389	3,523	3,645	3,300	3,286	3,366	3,223
	前年同月比	100.2%	107.7%	110.7%	117.9%	113.7%	107.7%	105.9%	108.4%	102.8%
調理食品(中食)	支出金額	10,069	10,112	10,320	9,824	10,306	9,996	10,961	11,258	10,423
	前年同月比	105.2%	110.5%	103.4%	99.7%	102.0%	103.5%	101.2%	102.5%	102.1%
外食	支出金額	13,224	11,467	9,307	4,646	5,988	8,184	9,429	10,172	9,975
	前年同月比	107.2%	104.9%	69.9%	37.3%	44.8%	66.8%	74.3%	72.4%	80.1%
家庭内食	支出金額	48,075	50,630	56,522	57,906	59,844	55,698	54,685	58,887	55,316
	前年同月比	98.6%	105.5%	108.3%	113.8%	113.6%	108.5%	107.7%	111.0%	104.7%

### 【家畜販売価格動向】

- (1)11月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は726千円(前年同期比102.4%)、育成牛価格は403千円(同113.8%)、和牛素牛(去勢)価格は776千円(95.0%)、F1素牛(去勢)価格は444千円(同88.3%)、F1初生(雄)価格は143千円(58.2%)。
- (2)上場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同97.0%、育成牛:同109.3%。また、和牛素牛(去勢):同99.2%は前年を若干下回ったが、F1初生(雄):同122.1%、F1素牛(去勢):同112.4%と前年を上回った。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値 (<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

